

MRI 検査を受ける方へ

* 予約時間 15 分前には画像診断窓口にお越しください。時間厳守するようご協力をお願いします。

* 検査時間は約 20～30 分です。検査部位によって大きく異なる場合がありますため、時間の詳細はスタッフにお尋ねください。

* 磁場（磁石）と電波を利用して体内の情報を画像にする検査です。放射線を扱わないため被ばくがなく、身体に及ぼす影響はほとんどありません。

* 緊急の患者様への対応のため撮影順が変わることがありますのでご了承ください。

* 都合が悪く来院出来なくなった場合は、できるだけ早く受診された科の外来窓口までご連絡をお願いいたします。

注意事項

以下に該当する方は検査を受けることができません。

- ・心臓ペースメーカー、除細動器を使用している
- ・人工内耳、人工中耳を使用している
- ・脳深部刺激装置を使用している

以下に該当する方は場合によって検査を受けることが出来ません。検査前にスタッフにお申し出ください。

- ・閉所恐怖症の方
- ・検査中、じっとすることが出来ない方
- ・体内に金属がある方（人工関節、膿瘍脈瘤クリップ、ステントなど）
- ・1 ヶ月以内に内視鏡クリップ術を行った方
- ・妊娠中、妊娠の可能性がある方

以下に該当するものは検査前に取り外していただきます。

入れ歯、インプラント、義眼、カラーコンタクト、補聴器、ウィッグやヘアピース等、ヘアピン、ピアス、腕時計、ネックレス等のアクセサリー類、湿布やエレキバンなどの貼り薬、カイロ

また入れ墨・アートメイクをされている方は変色や火傷の可能性がありますので、主治医にご相談の上検査を受けてください。

食事について

検査部位に応じて食事制限があります。主治医からの指示・検査前説明に従ってください。基本的に**腹部 MRI** や**造影 MRI** では**約 3 時間絶食**していただきます。検査が午前の場合は朝食を、午後の場合は昼食を控えていただきます。水やお茶などの**水分は通常通り摂取**してください（ただし牛乳やジュースなどは不可）。

※ただし緊急の場合はこの限りではありません。

服装について

金属類は全て外していただき、必要に応じて着替えをしていただきます。スタッフの指示に従ってください。

金属類の例：ブラジャー、コルセット、チャックがついた衣類など

造影剤について

造影剤を使用することで血管や病変をわかりやすくすることができます。食事制限や休薬などの指示があるため、検査前説明での注意事項をお守りください。

ごくまれに造影剤による副作用が起こることがありますので、具合が悪い（吐き気、息苦しい）、かゆみや発疹があるなどの場合はすぐにスタッフにお知らせ下さい。また、以下の方は必ず検査前にお申し出ください。

- ・アレルギー体質の方
- ・喘息（小児喘息、気管支喘息、咳喘息、アレルギーを含む）の既往歴がある方
- ・過去の造影検査で副作用がでた方
- ・糖尿病の薬を飲んでいる方

造影剤は尿として体外に排出されるため、検査後は水分を多めに取るようにお願いします。また検査当日は脱水症状を引き起こすような激しい運動やアルコール摂取はお控えください。

まれに帰宅後に造影剤による副作用が起こることがありますので、症状が出た場合は渥美病院（0531-22-2131）までご連絡をお願いします。

ご不明点があればお気軽にスタッフへお尋ねください

